

全国の頂点を目指す!!

とわの森三愛高等学校
ソフトボール部 キャプテン

ひらかわ みさと
平川 美里 さん



今年6月に開催された全道高校女子ソフトボール大会で16年連続、20度目の優勝を飾った、とわの森三愛高等学校。そのキャプテンを務める平川美里さんは10月に開催される国民体育大会（国体）の北海道代表選手として選拔され、優勝を目指して日々練習に汗を流しています。

はじめたきっかけは？

小学生の時はバスケットボールをしていました。ずっと続けたかったのですが出身校の西当別中学校には入学当時バスケットボール部がなく、姉がやっていたことや親の勧めもありソフトボール部に入部しました。

選手としての特徴は？

ヒットを打ち進塁しなければ得点にはつながりません。私には長打力は無いので頭と足を使ったバッティングをするように心がけています。守備の間隙を狙ってボールを高くバウンドさせる打ち方や「スラップ」といって、バッターボックス内を走りながら打つソフトボール独特の打法を主に

使っています。普通のバッティングと見せかけてセーフティーバントをしたり、その逆もあります。いかに相手の守備を翻弄ほんろうさせることができるかを常に考えています。また、塁に少しでも近づけるように左打ちにしました。中学生の時に外部コーチをしていた父からのアドバイスを受けて、現在のスタイルになりました。

キャプテンとしての苦勞は？

とわの森は現在37人の部員がいます。監督の意向もあり、各学年にキャプテンがいて、私は1年生から学年のキャプテンを任されていました。今年は部全体のキャプテンもしていますが、はじめは全体をまとめていくプレッシャーと不安で自信が持てませんでした。でも今まで続けられたのは私一人の力ではなく監督や仲間、そして家族の支えがあったからで、支えてくれている全ての方に感謝しています。

これからの夢は？

高校生活最後の大会となる国体では全国一になり

たいと思います。実は姉も中学生からソフトボールをはじめ、とわの森の先輩なんです。3歳年上なので中学・高校では一緒にソフトボールをしたことはなかったのですが、来年は姉と同じ大学に進学して一緒にプレイできると嬉しいです。将来は高校の体育教師になって、大好きなソフトボールを指導するのが夢です。また、他の学校で活躍している中学校の同級生がたくさんいます。同じ思いで頑張っている仲間であり良きライバルで、技術や気持ちで負けないうこれからも練習を頑張りたいと思います。



練習中の真剣な表情とは異なり、インタビュー時はとても明るくお話を聞かせてくれた美里さん。照れ笑いしながら見せる笑顔がとても素敵でした。10月に出場する国体での活躍に期待します！（8月18日取材）